

TOPICS 5 幕張ベイトウン等の土地について

街びらきから30年を迎え、現在、幕張ベイトウンは、約2万5千人が居住する街へと発展してきたところです。

引き続き企業局と地元千葉市が協力し、住民の方々にとって良好な住環境を維持していくことが大切だと思いますが、幕張ベイトウンにおける企業局の資産管理について伺いしたいです。

また、企業局では、幕張地区以外の場所でも街づくりに寄与するために、地域の住民からも意見を聴きながら保有資産の活用を検討していると聞いています。

▼そこで伺います!!

Q 幕張ベイトウンに保有する資産等について、管理費等の令和7年度当初予算の計上状況はどうでしょうか？

A 千葉市へ譲渡した廃棄物空気輸送システムに係る市への負担金及び所在市町村交付金として6億7百万円、ベイトウンを含む幕張・検見川地域に当局が保有する土地の除草や巡回等に要する管理費として3千9百万円を計上しています。

Q 令和7年度の美浜区における新規分譲の予定による収入見込み額はどのように見込んでいますか？

A 検見川浜駅前にあり平成29年1月まで使用されていた旧検見川地区サービスセンターの土地及び建物を公募・分譲予定で、約15億円の収入を見込んでいます。

すみの意見&要望 私も当該土地については、地域住民の方から直接意見を聴きましたが、医療施設や商業施設等の立地について要望がありました。企業局においては、地元住民にとって、より一層暮らしやすい街づくりに資するよう、今後分譲を進めていただきたいと思います。

TOPICS 7 日本語指導を必要とする外国人児童生徒への取組について

社会情勢の変化、国際化の進展に伴って、日本で生活する外国人が急速に増えております。こうしたなか、学校現場では、日本語指導の必要な外国人児童生徒が増加していると思われます。

▼そこで伺います!!

Q 県内における日本語指導が必要な外国人児童生徒数の推移はどうか？

A 千葉県内の日本語指導が必要な外国人児童生徒数は、平成26年に1,043人でしたが、令和5年には3,381人と、この10年間で約3倍に増加をしております。

Q 県内における日本語指導が必要な外国人児童生徒の使用言語はどうか？

A 県内で最も多いのが、中国語、次いでフィリピン語、英語と続き、県内では使用者の少ない言語も数えると約40の言語となっております。

Q 県立学校において、教育相談員の人数の推移はどうか？

A 令和3年は延べ69人でしたが、令和6年には延べ93人を配置しており、生徒の増加に比例して増加しております。

Q 県立学校において、いわゆる希少言語を使用する生徒への支援状況はどうか？

A 現状では、生活や学習の状況に応じて、ICT機器を活用して翻訳したり、一文を短くするなどいわゆる「やさしい日本語」を意識的に使いながら、相談員が支援しております。

すみの意見&要望 今後も、日本語指導が必要な全ての外国人児童生徒等が明るく健やかな学校生活を送ることができ、また、外国人と共生できる社会が実現するよう、外国人児童生徒を支援する相談員をさらに配置するなど、受け入れ態勢を整えるよう要望します。

TOPICS 9 私立幼稚園医療的ケア看護職員配置事業について

資料によると、本事業は私立幼稚園における医療的ケア児の受入体制の整備に向けて、看護職員等の配置に係る経費を補助し、特別支援教育のさらなる充実を図るとのことで、予算額は2,200万円となっております。

▼そこで伺います!!

Q 本事業により、どのような効果を見込んでいるのでしょうか？

A 現在、国の補助制度により、医療的ケア児を受け入れるために看護職員等の配置をした場合、経費の1/3が補助されており、2/3が幼稚園の負担となっておりますが、令和7年度からは、国と県がそれぞれ1/2ずつ補助する制度内容となり、幼稚園の負担が軽減されます。

本事業により、医療的ケアを必要とする子どもや保護者の教育的ニーズに応じた支援が行われるよう、私立幼稚園における医療的ケアの環境整備の充実が図られることが期待されます。

TOPICS 6 地域包括ケアシステムの体制整備事業について

本年は2025年、団塊の世代全てが後期高齢者になる年です。県内の市町村では、医療や介護、予防、生活支援が一体的に提供されるしくみである地域包括ケアシステムの構築が進められていますが、取組状況に違いが生じているのではないのでしょうか。

高齢者が住みやすい地域は、どの世代にとっても住みやすい地域といえます。どこに住んでいても、安心して暮らし続けられるよう、県としても市町村をサポートすべきと考えます。

▼そこで伺います!!

Q 市町村における地域包括ケアシステムの体制整備について、県はどのように支援していくのでしょうか？

A 県ではこれまで、希望する市町村へ地域包括ケアシステムの構築に係るアドバイザーを派遣していましたが、令和7年度からは、これに加え、取組が低調な市町村にもアドバイザーを派遣するなど、プッシュ型の支援を新たに行うこととしています。

Q プッシュ型の支援の対象となる市町村をどのように把握し、抽出するのでしょうか？

A 県内全市町村を対象に、介護サービス基盤の整備や介護予防に向けた通いの場の設置、家事や移動を支援する仕組みづくりなどが、地域の実情に応じて進められているかを書面により調査するとともに、県内9つの高齢者保健福祉圏域ごとに2か所程度の市町村にヒアリングを行い、それらの結果に基づき抽出します。

すみの意見&要望 超高齢社会を迎えている中、県内の地域包括ケアシステムの構築が円滑に、かつ効果的に進むよう、市町村に対し積極的な支援をお願いします。

TOPICS 8 小学校専科非常勤講師等配置事業について

県の発表資料によれば、同事業は、児童の学力及び学習意欲等の向上を図ることを目的としていますが、児童の学力の向上に必要な教科は当然、多岐にわたると認識しております。

国の加配によって配置される専科教員について、優先教科を外国語、算数、理科、体育としている中、千葉県が独自に非常勤講師を配置する教科は、算数、理科の2教科としております。

▼そこで伺います!!

Q 算数と理科の科目に専任の非常勤講師を配置する目的は何でしょうか？

A 算数・理科は、特に中学年から学習内容が難しくなる教科であることから、専任の非常勤講師を配置することにより、理数教育の充実を図り、学力の向上を図ることを目的としています。

Q 専門性が高く、指導力のある非常勤講師を配置する必要があると考えますが、非常勤講師はどのような方を想定していますか？

A 配置校の児童の学力向上だけでなく、教員の指導力向上も目的としていることから、指導実績のある退職教員等を想定しています。

Q すでに非常勤講師を配置した学校を含め、この事業による効果について、どのように考えていますか？

A 配置校の視察やヒアリングなどから、児童の学力の向上、配置校の教員の指導力向上、担任教員の負担軽減等に成果が出ていることが報告されています。

すみの意見&要望 デジタル化が進む現代において、理工系など科学技術分野の人材は今後ますます重要になってくると思います。少子化等の影響もあり、大学の理工系学部の志望者が減少している中、本取組は子どもの苦手意識の払しょくや、さらに理数系を楽しく感じてもらい、将来科学者を目指すきっかけとなる可能性もございます。是非多くの学校で取り入れていただきたく要望します。

東京科学大学大学院に合格しました

国立東京科学大学(旧東京医科歯科大と旧東京工業大学が合併して新設した大学)に入学



このたび、国立大学法人 東京科学大学大学院 歯学部総合研究科 修士課程 医療管理政策学(MMA)に合格しました。

人生で二度目の大学院進学。故郷・千葉県の保健福祉体制をより良くしたいという想いから政治家を志しましたが、県民の皆さまのために、さらに質の高い質問と政策提言ができるよう、学び続けます。

県政についての皆様のご意見・ご要望をお聞かせください!

すみ隆仁 事務所

<https://sumitakahitokouenkai.com/>

すみ隆仁

Q検索

〒261-0001 千葉市美浜区幸町1-2-2 桑田ビル3A ☎043-246-5066 📠043-262-9930 ✉sumitakahitokouenkai@gmail.com

ホームページ



X@sumitakahito



YouTube



メール

